



生理機能検査室(心電図室)で行われている“体成分測定”についてご紹介させていただきます。  
体成分測定は、生体電気インピーダンス法(BIA法)という方法を応用して体内の水分、筋肉、脂肪などの様々な体分量を測定しています。

\* 結果様式と主な測定項目



- ① **体成分分析**: 体水分量・たんぱく質量(体成分と筋肉など)・ミネラル量(骨など)・体脂肪量のバランス
- ② **骨格筋と脂肪のバランス**
- ③ **肥満評価**: BMI・体脂肪率・ウエストヒップ比
- ④ **筋肉バランス**: 腕・体格・脚の部位別、筋肉量
- ⑤ **水分バランス**: 腕・体格・脚の部位別、水分量
- ⑥ **体脂肪バランス**: 腕・体格・脚の部位別、脂肪量
- ⑦ **総合評価**: 栄養評価・体重管理・肥満診断・身体バランス・身体強度・健康評価
- ⑧ **体重調節**: 適正体重・脂肪調節量・筋肉調節量
- ⑨ **フィットネススコア**: 70点以上が標準

\* 検査を受ける前の注意事項

1. ペースメーカーを装着されている方は禁忌(ペースメーカーの動作に影響がでる可能性があります)
2. 妊娠中の方は参考値(羊水分が脂肪として判断されるためです)
3. 食後2時間後・排便・排尿後が理想的(食事・便・尿は脂肪として判断されます)
4. 軽装で検査(測定時、洋服分として1kg引いています)
5. 金属・磁気カードを外す(特に磁気カードは使用できなくなる可能性があります)
6. 金属製部品(インプラント)の埋め込みをされている方は測定可能です。
7. 運動前に測定(運動後は発汗や筋肉の張りなどで誤差を生じる可能性があります)
8. 測定中は「動かず・喋らず・笑わず」をお願いします。

体成分を測定することにより、必要な摂取栄養分、筋肉と脂肪の状態やバランス、むくみ、適した運動方法などを割り出し、患者様の継続的な評価・治療に役立てています。

検査をご希望の方は、主治医にご相談下さい。